

2023年度 第11回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

2024年2月15日（木）

場 所 豊岡市役所本庁舎7階 第3委員会室

所 在 地 豊岡市中央町2番4号

開会時間 午前10時00分

閉会時間 午前11時45分

○ 出席委員の氏名

教育長	嶋 公 治
委員（教育長職務代理者）	佐伯 和亜
委員	向井 美紀
委員	飯田 正巳
委員	升田 敏行

欠席委員 なし

○ 教育長、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局	教育次長	正木 一郎
	教育総務課長	木之瀬 晋弥
	学校教育課長	寺坂 浩司
	学校教育課参事	吉谷 孝憲
	幼児育成課長	吉本 努
	社会教育課長	旭 和則
	教育総務課課長補佐	植田 真美
	教育総務課教育総務係長	藤田 祐

事務局以外 こども支援課こども支援センター所長 鳥居 保

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

佐伯 和亜 委員

第2 前回の会議録の承認

2024年1月25日（木）開催 第10回定例会

第3 教育長の報告

第4 議事

- 議案第36号 令和5年度3月補正教育関係予算案に関する意見について
- 議案第37号 令和6年度当初教育関係予算案に関する意見について
- 議案第38号 2024年度教育行政の方針と施策の展開について
- 議案第39号 豊岡市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則制定について
- 議案第40号 豊岡市立学校職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令制定について
- 報告第29号 寄附物件の受納について

第5 教育委員会事務局の報告

1 学校教育課

- (1) 生徒指導について
- (2) 令和5年度卒業式（卒園式）の出席者について

2 社会教育課

- (1) 豊岡市社会教育基本計画の検討状況について

第6 こども未来部の報告

1 こども支援課

- (1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

第7 委員活動報告

第8 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

開会 午前10時00分

(教育長)

ただ今から、2023年度第11回教育委員会会議を開会いたします。本日はすべての委員が出席していますので、会議が成立していることを報告いたします。

【日程 第1 会議録署名委員の指名】

(教育長)

日程第1 会議録署名委員の指名です。本日は佐伯委員にお願いしたいと思いますのでよろしくお願いします。

【日程 第2 前回の会議録の承認】

(教育長)

続きまして、日程第2 前回の会議録の承認についてです。1月25日に開催しました第10回教育委員会会議の会議録について、委員の皆さんの承認を求めるものです。誤った点や修正など

はございませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

「なし」という声がありますので、会議録については承認することに決定いたします。

【日程 第3 教育長の報告】

(教育長)

日程第3 教育長の報告です。前回1月25日の教育委員会会議から、本日の会議までの私の主要な教育活動の概要について報告いたします。本日配付した資料をご覧ください。

《教育長の報告概要》

1月29日に第4回部活動の在り方検討委員会を開催しました。これまでの協議結果について報告します。

部活動の在り方について、教員の働き方改革と、子どもの人数が減ったことにより思うような部活動ができないことの2つを解決するのが主な目的になります。国は当初「地域移行」として、土日等の休日の部活動を学校外のスポーツクラブ21や民間の団体を受け皿にし、学校外で部活動をしようと考えていましたが、ほとんどの地域で受け皿がない実態を受けて、「地域連携」の形に移行しました。

地域連携とは、学校部活動であり、学校の管理下、教員や部活動指導員が指導を行うものです。例えば、事故が起きた際も現在のスポーツ振興の共済給付の対象になり、また中学校体育連盟の大会への参加も可能です。豊岡市は、当面、教員と教員以外の部活動指導員が指導するようにより取り組んでいこうと考えました。いずれにしても部活動指導員は必要になってきますので、数日前から市ホームページで「部活動指導員人材バンク登録者を募集します」と募集をかけています。中学校長にもその旨を伝えました。

しばらくは部活動指導員の人材バンクの登録状況を見て、いずれの学校でいずれの部活動が地域連携できるのかを来年度検討し、9月頃にはいずれかの学校で実際に地域連携の部活動を実践していきたいと考えています。

【日程 第4 議事】

(教育長)

日程第4 議事に移ります。議案第36号 令和5年度3月補正教育関係予算案に関する意見について、議案第37号 令和6年度当初教育関係予算案に関する意見について、議案第38号 2024年度教育行政の方針と施策の展開については、この後、議会に議案として提出され、議決を経るべき事項でありますので、豊岡市教育委員会会議規則第17条により非公開としたいと考えますが、いかがでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

委員の承認を得ましたので、議案第36号から議案第38号については、非公開といたします。傍聴いただいている方は申し訳ありませんが、非公開議案が終了するまで、ご退席をお願いします。

○ 議案第36号 令和5年度3月補正教育関係予算案に関する意見について

【非公開会議】

《 令和5年度3月補正教育関係予算案に関する意見について、教育総務課長、学校教育課長、幼児育成課長、社会教育課長が説明し、審議の結果、異議なしと承認された 》

○ 議案第37号 令和6年度当初教育関係予算案に関する意見について

【非公開会議】

《 令和6年度当初教育関係予算案に関する意見について、教育総務課長、学校教育課長、幼児育成課長、社会教育課長が説明し、審議の結果、異議なしと承認された 》

○ 議案第38号 2024年度教育行政の方針と施策の展開について

【非公開会議】

《 2024年度教育行政の方針と施策の展開について、教育次長が説明し、審議の結果、異議なしと承認された 》

(教育長)

以上で非公開議案は終了しました。非公開議案のため退出いただいた傍聴人の方には、お入りいただくよう案内をしてください。

(教育長)

続きまして、議案第39号 豊岡市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則制定について、学校教育課参事の説明をお願いします。

○ 議案第39号 豊岡市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則制定について

《 学校教育課参事の説明概要 》

豊岡市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則制定について、資料に基づき説明する。

改正理由は、職員の職務に専念する義務の免除の承認に関し、実態に合わせた条文の改正を行うためである。具体的には、職員の出張・休暇等の承認に係る処理で、校長が行うものの中に「職務に専念する義務の免除」を加えるものである。

本件は、2022年度から、小中学校事務研究会で学校での服務義務の円滑化に向けた協議を行っており、その協議結果に基づき変更する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

議案第 39 号 豊岡市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則制定について、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

それでは、議案第 39 号 豊岡市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則制定について、原案のとおり可決します。

続きまして、議案第40号 豊岡市立学校職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令制定について、学校教育課参事の説明をお願いします。

○ 議案第40号 豊岡市立学校職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令制定について

《学校教育課参事の説明概要》

豊岡市立学校職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令制定について、資料に基づき説明する。

改正理由は、様式を定めること及び所要の規定の整理を行うためである。

議案第 39 号と同様に、小中学校事務研究会における協議結果に基づき変更するものである。

14 の様式を規定で定めるようにする。そして、現在は申請書の提出先を教育長としているが、これを校長に変更している。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

「職員証」とありますが、重みを持たせるために「職員之証」とするのはいかがでしょうか。

(学校教育課参事)

基本的には県の規定に基づいて検討し、この形がよいと考えて「職員証」としています。

(教育次長)

また、各学校では実際に既にこの様式で運用しており、今回、あらためて規則で様式を定めよ

うとするものです。現在の様式を変更するならば、各学校で持っている様式をすべて作り変える必要が出てきます。

(飯田委員)

分かりました。

(教育長)

その他、質問等はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

議案第 40 号 豊岡市立学校職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令制定について、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

それでは、議案第 40 号 豊岡市立学校職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令制定について、原案のとおり可決します。

続きまして、議事（報告）に移ります。報告29号 寄附物件の受納について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 報告第29号 寄附物件の受納について

《教育総務課長の説明概要》

寄附物件の受納について、資料に基づき説明する。

団体 1 件、個人 2 件の合計 3 件の寄附申出があり、これを受納したので報告する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(佐伯委員)

八代小学校に寄付されている絵画は、寄付者の方が描かれたものでしょうか。

(教育総務課長)

寄付者が描かれたものではありません。

(教育長)

その他質問等はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、寄付物件の受納を行ったことをご承知おきください。

【日程 第5 教育委員会事務局の報告】

(教育長)

日程第5 教育委員会事務局の報告に移ります。学校教育課 (1) 生徒指導について、学校教育課長の説明をお願いします。

1 学校教育課

(1) 生徒指導について

《学校教育課長の説明概要》

生徒指導について、資料に基づき説明する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(向井委員)

オンラインゲームの課金の件について、保護者からの報告だったのでしょうか。

(学校教育課長)

はい、そのとおりです。

(向井委員)

1件で9人というのは、9人のグループでオンラインによりやりとりが行われていたということでしょうか。

(学校教育課長)

友達同士でやりとりが行われていました。

(教育長)

続きまして、(2) 令和5年度卒業式・卒園式の出席者について、学校教育課長の説明をお願いします。

(2) 令和5年度卒業式・卒園式の出席者について

《学校教育課長の説明概要》

令和5年度卒業式・卒園式の出席者について、資料に基づき説明する。

小学校卒業式は3月21日、幼稚園・認定こども園の卒園式は3月18日、中学校卒業式は3月11日である。

(教育長)

ご意見やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

告辞はありますでしょうか。

(学校教育課長)

告辞文は学校に届けますが、出席者による告辞の読み上げはしないこととします。学校行事の簡素化や学校の働き方改革を考慮し、そうした形にしています。

(教育長)

次に、社会教育課からの報告に移ります。(1) 豊岡市社会教育基本計画の検討状況について、社会教育課長の説明をお願いします。

2 社会教育課

(1) 豊岡市社会教育基本計画の検討状況について

《社会教育課長の説明概要》

豊岡市社会教育基本計画の検討状況について、資料に基づき説明する。

計画策定の趣旨は、本市では、社会教育という広い枠組みの中で文化芸術・スポーツ等の個別計画を策定し取組みを進めているが、市として社会教育施策を統合的に推進するため、社会教育全体として目指すべき姿、方向性を示す必要があると考え、計画を策定する。

計画の期間は、2024年度から2028年度の5か年計画とする。

基本理念について、昨年12月に、学識経験者、教育関係、関係団体とで構成する策定委員会に素案を提示した。そこで、学びや活動の好循環による「自分づくり・生きがいがづくり・つながりづくり・まちづくりの推進」を委員の皆さんに了承いただいた。まちづくりを進めるために、社会教育を目的とするのではなく、一人一人の学びや活動を通して自分らしさや個性を發揮し、それが生きがいとなり、人とのつながりに波及し、その結果、産物としてまちづくりにつながっていく、そのようなものをイメージしている。

計画の推進について、推進体制は、社会教育課が中心となり、関係部署との連携を強化し、各課で実施している社会教育に関連する各種事業の進捗、課題等を聞き取り、助言を行いながら、事業の推進を図っていく。また、計画の理念に基づく、各種施策等に対する意見を聞き、検証するための推進会議の設置を検討している。

計画策定の経過について、これまでに策定委員会を3回、庁内検討部会を2回開催し、意見をいただき、協議を進めてきた。

今後の予定について、3月の定例教育委員会会議終了後に教育委員協議会を開催し、教育委員の皆さんから意見を聞くこととしている。そして、6月の定例教育委員会会議に議案として提出

し、承認いただければ、7月に公表の予定である。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

計画の進行管理をしていかなければならないが、助言等はいずれが行うのでしょうか。

(社会教育課長)

イメージとしては、各課でいろいろな事業をしていますが、社会教育基本計画を策定することによって、市として社会教育全体の目指すべき姿ができますので、それに対して、推進会議で計画に基づくものが各課できちんとできているのか、課題があるのかなどを聞き取り、課題や計画とのずれ、強化していく点があれば、推進会議の意見をいただきながら、協議し進めていきたいと考えています。

(飯田委員)

各課がそれぞれ事業を計画して進めていく場合、一番反省するのは担当部署であり、そのことについて助言を求められることは、社会教育課としてはおこがましい部分があるのではないかと思います。委員会等に、事業実施の成果を報告し、市民にとってよかったのかどうかを広い知見で評価してもらおうほうが、よりよいものになると思いました。

(社会教育課長)

助言という言葉が適切かどうかを含め、改めて検討し、良い方向にしたいと考えます。

(教育長)

その他、質問等はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

これで各課からの報告を終了します。

【日程 第6 こども未来部の報告】

(教育長)

続きまして、日程第6 こども未来部からの報告に移ります。こども支援課 (1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について、こども支援センター所長の説明をお願いします。

1 こども支援課

(1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

《こども支援センター所長の説明概要》

豊岡市こども支援センター活動状況報告について、資料に基づき説明する。

不登校の取組状況は、通級児童生徒数は延べ 168 人、実数 22 人である。1月の開所日数は 14 日間で、平均通所人数は 12 人と増えている。通所者が増えたことで、子どもたちの人間関係の広がりを日々感じている。小集団ができ、それぞれの集団での状態に加え、個別に対話を心掛け、個々の状態を把握していこうとしている。また、人数の増加に伴い、子どもたちの安全面への配慮に一層努めていきたい。

特別支援の取組状況は、新規相談件数 21 件中 6 件は、中学校進学に向けて、小 6 の児童の検査結果を基にした支援方法の相談であった。また、1月は次年度の特別支援教育支援員の配置に係る学校園訪問を 35 校園実施した。9日間で 633 人の園児児童生徒の状況を、学校教育課職員と幼児育成課職員が合同で参観した。

家庭児童相談の取組状況は、1月の児童虐待通告は 9 件で、5 世帯 11 人である。家庭相談員の対応件数は 450 件、訪問回数は 50 回を数えている。

(教育長)

ご意見やご質問はありませんでしょうか。

(委員)

なし

【日程 第 7 委員活動報告】

(教育長)

続きまして、日程第 7 委員活動報告に移ります。

(飯田委員)

2月7日に竹野地域小中一貫校教育課程ワークショップに参加してきました。私自身、自分の経験してきた中での考え方や既成概念があるのですが、兵庫教育大学大学院の安藤准教授の豊岡市の歴史や世界観から見てどうなのかとの、高い次元のお話を聞けて目から鱗が落ちるほどよいワークショップでした。日頃の生活が中心になってしまい、勉強が足りないところがあると思いますし、もっと勉強して情報を得なければならないと改めて感じました。

それから、豊岡市民プラザで児童劇「スーホの白い馬」を見ました。小学 2 年生の教科書に載っていることも起因していると思いますが、子ども連れの方々がたくさんおられ、子どもたちがとても楽しんでいました。教科書に載っている劇を観ることで、さらに子どもたちの心の中にスーホの白い馬が浸透していく状況が見てとれ、今回の公演はとてもありがたいと思いました。

(向井委員)

2月7日の竹野地域小中一貫校教育課程ワークショップに参加しました。とてもよいお話を聴けたと同時に、地域で作っていく学校なんだということが分かり、私自身もわくわくしてきました。安藤准教授の話の中で「学校は拠り所」と発言があったときに、現在の統合を進めることについてはどのように捉えられているのかなと思いました。ワークショップでは活発な意見がた

くさん出ていてよかったですと思いました。竹野地域は一町一川で、竹野南地区から中竹野地区、竹野地区へと海まで流れていく自然豊かな環境がありますが、お母さんたちからそうした環境を生かした体験に取り組んでいこうとの意見も出ていました。体験だけで終わらずに、体験から得るものが良い方向に子どもたちを導き、よい教育ができればと思いました。先生方も大変だろうけれども、地域の方々も関わって、よい教育ができる学校ができ、子どもたちがそうした教育を受けて「竹野地域が、地元が好きだ」と思ってくれるとよいなあと思いました。

(佐伯委員)

小学2年生のコミュニケーション授業の演劇ワークショップを見学しました。FMジャングルの取材も兼ねて行ってきました。子どもたちは伸び伸びと活動していました。クラスの中で5つの班に分かれ、自分たちでお題を見つけて、5～6人で話し合い、お題が決まるとすぐに練習を始めていました。班ごとに生き生きと行動していてよかったですし、とても上手に発表していました。

(升田委員)

竹野地域小中一貫校教育課程ワークショップに行けず残念でした。

出石地域の人権の集いに参加しました。人権の団体も高齢化してきており、今後どのような展望を持って動かれるのかなと思いながら帰路に着きました。

勤務する東井義雄記念館で資料を作成しているときに、「戦争が終わって10年しか経たない昭和30年に、旧相田小学校で同和教育をどのように進めていくのか。地域、学校、職員は同和教育を受け止めて、どのように進めていくのか」に関する発表内容の資料を見つけました。その資料を見つけ、先日参加してきた出石地域の人権の集いがリンクしました。発表では、いろいろな問題に対して、職員はどうあるべきか、地域はどのような状況か、その時代の背景を調べて学校としてできることは何なのか、子どもたちにどう考えさせていくのかなどが研究・実践されていました。

今日においても、意識の改革が一番難しいことだと思います。人それぞれ思いや経験、持っている知識が違います。私もいろいろな情報を見聞きし、意識改革をしなければいけないと思っています。

(向井委員)

周知について、(仮称)竹野学園に決まったわけですが、以前から何度も議論しているにもかかわらず、「まだ保護者に届いていない」と先日言われました。小中一貫校になったことを分かっていない人もたくさんいました。

竹野地域小中一貫校教育課程ワークショップの2回目の募集では、保護者から「2日間とも参加できる方でないとだめと言われたのは厳しい」との声もありました。発信しているつもりでも、届いていないのは何かしら問題があるのでしょうか。

八代小学校の小規模特認校制度導入の件についても、保護者から全然知らずに新聞で知ったと言われました。教育委員会では一生懸命伝えてくださっているのですが、なかなか保護者に情報が届いていないのはいかなものかと思います。

(教育総務課長)

教育委員会だよりも載せ、隣保回覧していますが、まだそうした意見があるようなので、また学校とも相談し、PTAの方が集まる機会があれば、調整し、そちらで説明させていただくことも考えたいと思います。

(教育長)

竹野地域小中一貫校の件については、昨年度、竹野地域での市政懇談会で「情報がない、知らない」と参加者から言われましたので、広報物を各戸配布するようにしました。竹野地域小中一貫校教育課程ワークショップのことも次号に掲載する予定です。

要は、その広報物を読んでもらうにはどうすればよいのかが重要だと思います。それには「学校が伝える」「園が伝える」「区長に伝えてもらう」などの方法しかないと思います。私たちもできることはやっていきたいと思っています。皆で知恵を出し合い、よい方法を探っていきたいと思いますが、地域の核となる人を通じて、現在の状況を話してもらうことがよいと考えます。

【日程 第8 教育委員会活動予定】

(教育長)

続きまして、日程第8 教育委員会活動予定に移ります。事務局から説明をお願いします。

1 次回教育委員会会議の日程について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

第12回教育委員会会議は、3月28日(木)午後3時から、本庁舎3階 庁議室で開催する。

2 今後の活動・行事予定

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

今後の活動・行事予定について、資料に基づき説明する。

(教育長)

以上で日程は終了となりますが、全体を通して、何かありませんでしょうか。

次回の教育委員会会議は、3月28日(木)午後3時から、本庁舎3階庁議室で開催します。

これをもちまして、第11回教育委員会会議を閉会いたします。

閉会 午前11時45分

この会議録は、会議の内容と相違ないことを証します。

2024年2月15日

教育長

委員